

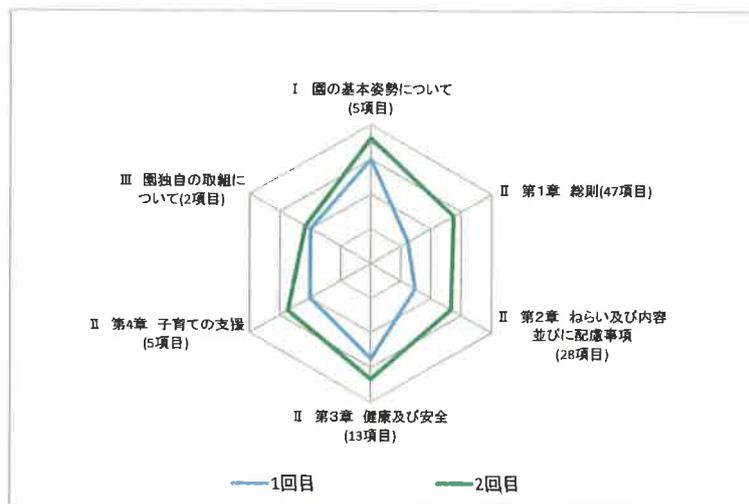
<評価方法>

十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック回分）

園名	糸満市立真壁こども園				園長 新垣ひとみ			
	1回目				2回目			
評価	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	71	34	4	1	76	33	0	1
II 第1章 総則(47項目)	513	402	87	35	617	389	14	14
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	306	256	38	16	368	221	22	5
第3章 健康及び安全(13項目)	183	86	10	7	197	80	3	6
第4章 子育ての支援(5項目)	55	49	7	2	68	37	3	2
III 園独自の取組について(2項目)	22	20	2	0	24	17	3	0

レーダー



【所見】

成果： どの項目も1回目より2回目の評価が、上回ったのは良かった。例年通り年度始めに全職員で園教育保育計画を読み合わせも行った。更に今年度は、中堅研修者や研究主任を中心に市指定幼小連携事業公開保育や園内研修を進める中で、講師より助言をいただき、指導案の見直しやチーム保育のつながりを確実に丁寧に行う為の協議を重ね、日々のねらいや振り返りの大切さ、援助や環境構成の重要性を再確認する事ができ、教育保育の充実につながった。子育て応援デーの日数も増やし、利用回数や保育・給食・行事参加体験も増えている。

課題： 各々の評価から、評価基準の違いが読み取れた。担当業務により、評価の高低があることも伺えた。全職員が、保育教諭として自信と誇りを持って日々の教育・保育実践に関われるよう、更なる日々の教育・保育実践内容の把握や伝達の工夫、研修会参加への機会等、積極的に取り組む必要性を感じた。特に評価の低い「園独自の取組について」も公立園のあり方について全職員で共通理解をしていく。

改善策： 今年度の成果の内容を本年度のみに留まらないように全職員が自覚を持ち、次年度も引き続き行えるようにしていく。課題から、全職員が自分の良さを発揮し、自信を持って教育・保育の実践、つながりができるよう話し合いの時間や研修会への参加等、学ぶ機会を確保していく。又、園独自の取組について、公立園のやるべきことや園の良さを活かした行事や園生活の在り方について、全職員で協議し、教育・保育の充実につなげていきたい。